

2020年7月3日発出

## 新型コロナウイルス感染症パンデミックの収束に向けた外科医療の提供に関する提言

### — 日本小児外科学会からの追加提言

日本小児外科学会

新型コロナウイルス(COVID19)感染症に関する緊急事態宣言が解除され、各施設において外科医療再開に向け動き出しているところである。外科待機手術の本格的な再開に向け注意すべき事項については、すでに日本小児外科学会を含む外科系諸学会から提言がなされており、小児外科医、あるいは小児外科診療施設もそれに従うべきである。

(<http://www.jssoc.or.jp/aboutus/coronavirus/info20200522.html>)

ここでは、小児外科が有する特有な問題点について提言を追加する。

なお、COVID19 無症状感染者から感染しうる期間については一定の見解はないが、一般的に隔離期間とされる2週間とした。

1) 術前2週間以内に同居家族に COVID19 感染またはクラスターの発生した保育園・幼稚園・小中学校(学級)の手術患者さんの不急の手術は原則延期する。

\* 現時点ですべての地域において手術前に通園、通学を控える必要はないと考えるが、学校での集団感染の報告もあり、地域の感染状況により判断すべきである。

2) 入院時親族の付き添いが必要な場合は、2週間以内に付き添い予定者およびその同居者が COVID19 感染者に濃厚接触をしている場合は原則手術は延期、どうしても必要な手術については付き添いを遠慮していただくかまたは付き添い者に COVID19 の PCR 検査またはそのほかの追加検査を受けていただくことを各施設の判断で決定する。

3) 入院中の付き添い者の途中交代は原則禁止とし、付き添い者の不要不急な外出も極力控えていただくよう要請する。

4) 術前の COVID19 の PCR 検査またはそのほかの追加検査については各施設の基準に従うが以下の小児外科手術患者に関しては検査を推奨する。

① 親族や周囲に COVID19 感染者がいる場合、および術前2週間以内に COVID19 感染者との濃厚接触が疑われた場合で緊急手術が必要な患者

② COVID19 院内感染のあるおよび疑われる施設から転院・紹介された小児外科手術患者

③ COVID19 感染妊婦から出生した新生児緊急手術症例(出生前に母体の PCR 検査で母体の陰性が確認されていればその限りではない)

④ 気道手術(気管切開、喉頭気管分離、肺切除など)、鏡視下手術(LPEC などサージカルスモークが発生しない手術は除く)、内視鏡検査など

①～④の条件下で、緊急手術などで PCR 検査未実施の場合は、COVID19 陽性例に準じて対応することを推奨する。

5) COVID19 感染例および術前の PCR 検査またはそのほかの追加検査で COVID19 陰性が確認されていない COVID19 感染を強く疑う症例は、フル PPE で手術を行う。

6) 小児における手術侵襲後の COVID19 感染症の経過については情報が無い。手術が必要であった COVID19 陽性患児の術後についてはより注意深く観察する必要がある。